学校番号	1011

令和８年度　学 ヒューマンサービス

教科	学 ﾋｭｰﾏﾝｻｰﾋﾞｽ	科目	(学)福祉コミュニケーション	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーションの技法やレクリエーションを中心に、幼児や高齢者、障がい者との交流を行い、それらが安定した社会生活を営む上で必要な対人援助に関する知識と技術を習得していきます。

2　学習の到達目標

対人援助に関する知識と技術を習得し、社会福祉援助活動に必要な能力と態度を育てる。

（１）福祉分野における対人援助について、探究するために必要な知識および技能を身につける。

（２）幼児や高齢者、障がい者について理解を深め、問題点を見出しては課題を設定して解決策を構想し、実践によって評価・改善したことを論理的に表現するなど、課題を解決したりする力を身に付ける。

（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築について課題に向き合い、解決や新たな価値の創造に向けて、積極的に取り組もうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	福祉分野における対人援助について、探究するために必要な知識および技能を身につけている。	幼児や高齢者、障がい者について理解を深め、問題点を見出しては課題を設定して解決策を構想し、実践によって評価・改善したことを論理的に表現するなど、課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築について課題に向き合い、解決や新たな価値の創造に向けて、積極的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1		・コミュニケーション技術の理解 ・コミュニケーション技術の方法と実際 ・車いす実習・	a:福祉に関する対人援助について探究するために、必要な知識および技能を身につけている。 b:実践によって評価したことを論理的に表現し、課題を解決する力を身につけ、幼児や高齢者、障がい者について理解を深めることができる。 c:今までの学習を生かして、自分の考えを深め、積極的な取り組みができている	小テスト 定期考査	ノート 定期考査	提出物 態度
		・グループホーム施設見学 ・手話 ・聴覚障がい者との交流	a:福祉に関する対人援助について探究するために、必要な知識および技能を身につけている。 b:実践によって評価したことを論理的に表現し、課題を解決する力を身につけ、幼児や高齢者、障がい者について理解を深めることができる。 c:今までの学習を生かして、自分の考えを深め、積極的な取り組みができている	小テスト 定期考査	ノート 定期考査	提出物 態度
2		・レクリエーションの考え方と展開 ・高齢者向けレクリエーションの展開と実際	a:福祉に関する対人援助について探究するために、必要な知識および技能を身につけている。 b:実践によって評価したことを論理的に表現し、課題を解決する力を身につけ、幼児や高齢者、障がい者について理解を深めることができる。 c:今までの学習を生かして、自分の考えを深め、積極的な取り組みができている	小テスト 確認テスト	ノート 確認テスト	提出物 態度
		・グループホーム交流会 ・点字 ・視覚障がい者福祉協会との交流会	a:福祉に関する対人援助について探究するために、必要な知識および技能を身につけている。 b:実践によって評価したことを論理的に表現し、課題を解決する力を身につけ、幼児や高齢者、障がい者について理解を深めることができる。 c:今までの学習を生かして、自分の考えを深め、積極的な取り組みができている	小テスト 確認テスト	ノート 確認テスト	提出物 態度
3		・幼児向けレクリエーションの展開と実際 ・保育園交流会	a:福祉に関する対人援助について探究するために、必要な知識および技能を身につけている。 b:実践によって評価したことを論理的に表現し、課題を解決する力を身につけ、幼児や高齢者、障がい者について理解を深めることができる。 c:今までの学習を生かして、自分の考えを深め、積極的な取り組みができている	小テスト 定期考査	ノート 定期考査	提出物 態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度